

自転車利用に役立つ取り組み

おおいたサイクルシェア（シェアサイクル）



市内60ヶ所以上に設置しているサイクルポート間であれば、24時間いつでもどこでも自由に電動アシスト自転車の貸出、返却ができます。

個人



- 料金
 - 1回 99円/10分
 - 月額 2,200円/月（最初の30分まで無料、以降10分ごとに99円）
 - ※月間利用回数：30回まで、31回目以降は「1回会員」の料金が適用
- 登録方法
 - スマートフォンのアプリから会員登録して利用
 - クレジットカードやd払いなどで支払い可能

法人



- 料金
 - 法人定額会員 4,400円/月額（超過料金なし）
 - 申込時に別途専用ICカード発行手数料550円/枚が必要
- メリット
 - メンテナンスや充電が不要で、業務中の事故にも対応できる自転車保険に加入済みです

お問い合わせ先 〓 おおいたサイクルシェア運営事務局（株式会社SAT） 大分市中央町1丁目5-25新大分ビル3-D
☎ 097-573-3377（平日9時～17時） ✉ info@s-at.jp

自転車走行空間の整備



自転車が安全で快適に走行できるよう、自転車の走行位置や進行方向を示す「誘導サイン等」を整備しています。



駐輪場の整備



市内中心部や郊外駅に無料の駐輪場を整備しています。お気軽にご利用下さい。



サイクルアンドバスライド専用駐輪場の整備



自転車とバスを乗り継ぎされる方のために、バス停近くの店舗等にご協力いただき、店舗敷地内に専用駐輪場を設置しています。事前に申込のうえ、ご利用ください。



電動アシスト自転車の貸出



企業や団体等の従業員の通勤や業務利用に活用できる電動アシスト自転車の貸出を、無料で行っています。（傷害保険・損害賠償責任保険に加入済み）



CHECK! 自転車通勤・業務での自転車利用を始めるポイント



- ☑ 自転車通勤や自転車利用が認められているか、就業規則等を確認しましょう
- ☑ 安全かつ快適に走れるコースを確認し、通勤ルートとして選定・申請しましょう
- ☑ ヘルメットを着用し、万が一に備えて自転車保険へ加入しましょう
- ☑ 雨対策を万全にしましょう

※「大分県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」により、自転車保険の加入が義務になりました。



▲『自転車通勤導入に関する手引き』より整理

※自転車通勤制度を導入するための検討をする際に参考となる手引きを自転車活用推進官民連携協議会が策定しました。「自転車通勤規定」等のテンプレートも掲載されていますので、ぜひご利用下さい。

本パンフレットのお問い合わせ先

〓 大分市 都市計画部 都市交通対策課 自転車総合対策担当班
☎ 870-8504 大分市荷揚町2番31号 ☎ 097-537-5690 ✉ tosikotu@city.oita.oita.jp

はじめてみませんか？ 自転車利用



大分市では、自転車利用を促進するとともに、市民の健康増進と企業における健康経営の推進を図るため、企業活動における自転車通勤や業務利用を促進したいと考えています。これを機会に、自転車利用を始めてみませんか？



安全な自転車利用のために

自転車安全利用五則

- ① 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用

OK ※歩道を通行できる例外

- ・標識で認められているとき
 - ・13歳未満の子ども
 - ・70歳以上の高齢者
 - ・身体の不自由な人
 - ・車道が危険なとき
- が自転車を運転するとき

※「自転車安全利用五則」とは・・・

道路交通法に定められた自転車のルールを国民に分かりやすく伝えるために、大きく5つに整理されたものです。自転車の安全利用促進を目的に、全国共通で活用されています。



企業における自転車利用のススメ

※下記のグラフ等は『自転車通勤導入に関する手引き(自転車活用推進官民連携協議会)』を参考に再編集しています。

事業者のメリット

【1】経費の節減

- ☞ 車に比べてガソリン代等の通勤にかかる費用が少ないため、通勤手当の削減につながります。
- ☞ 社有車や駐車場の維持にかかる固定経費の削減につながります。



図:自転車通勤による経費削減効果の例

【2】労働生産性の向上

- ☞ 自転車に乗り気分よく通勤している従業員は、時間管理や集中力・対人関係、仕事の成果等、労働生産性の向上が期待されます。

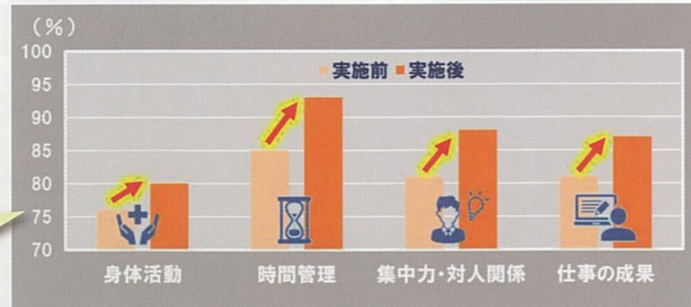


図:自転車通勤による労働生産性の変化(n=20)

※自転車通勤実施後のアンケート調査(WLQ-J)では、全ての項目で労働生産性の向上につながる効果が報告されています。

【3】企業のイメージアップ及び雇用の拡大

- ☞ SDGs や健康経営の推進に貢献できる取組であり、企業のイメージアップにつながります。

従業員のメリット

【1】通勤時間の短縮

- ☞ 自転車は渋滞に関係なく、駐車場を探す時間も必要ないことから、近・中距離での通勤時間短縮に効果的で、定時性にも優れています。

※約500mから5km弱の都市内移動において、他のどの交通手段よりも所要時間が短いことが示されています。

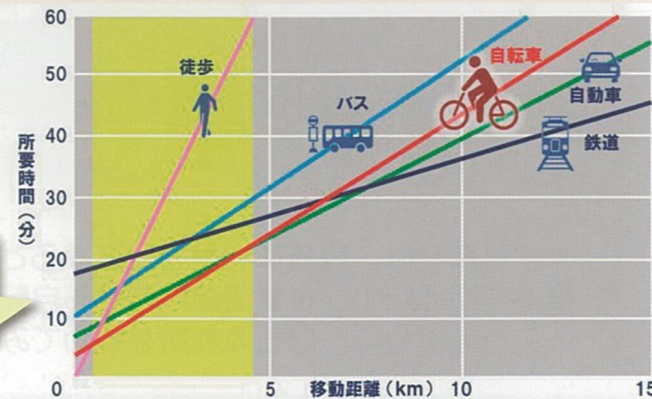


図:交通手段別の移動距離と所要時間の関係

【2】身体面及び精神面の健康増進

- ☞ 内臓脂肪の燃焼や体力・筋力の維持・増進に役立ちます(自転車通勤の運動強度(METs)は安静時の6.8倍)
- ☞ がんや心臓疾患による死亡・発症リスクが軽減します
- ☞ 気分・メンタルの向上につながります

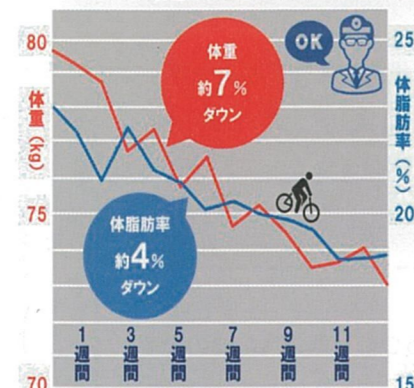


図:自転車通勤実施後の体重・体脂肪率の推移

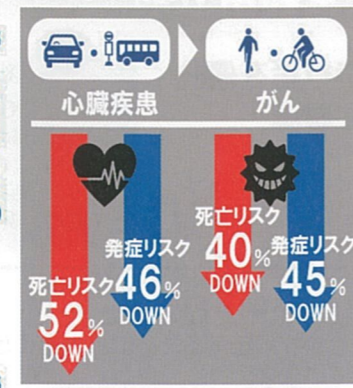


図:通勤時の手段別にみた心臓疾患・がんによる死亡・発症リスクの比較

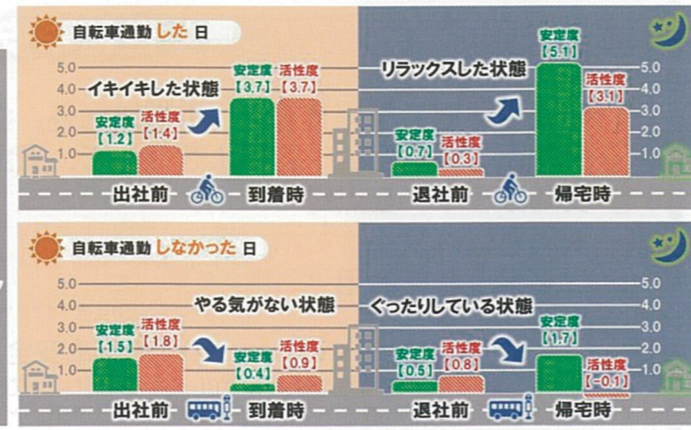


図:自転車通勤による気分の安定度・活性度の変化



大分市内の企業における自転車利用

国では、自転車通勤を積極的に推進する事業者の取組を広く発信し、業務利用の拡大を目的として「『自転車通勤推進企業宣言』プロジェクト」を実施しており、『宣言企業』認定のメリットは大きく2つ挙げられます。

宣言企業認定のメリット

- ① HPに企業名が紹介されます
- ② 自社HPや名刺等に認定ロゴマークを使用できます

☞ 認定ロゴマーク



今回は、大分市内の民間事業所で、『宣言企業』として認定を受けている『株式会社 環境整備産業』及び自転車の業務利用を推進している『株式会社 大分銀行』を紹介します。

自転車通勤の推進

- 商号 株式会社環境整備産業
- 事業内容 収集運搬事業、産業廃棄物等のリサイクル
- 従業員数 社員数179人(2022年11月現在)
- 企業における取組事例

地球環境保護の一環として自転車通勤の推進に取り組み始めて3年ほど経過しました。徒歩や自転車で通勤する社員には『ECO通勤手当』を支給するとともに、屋根付きの駐輪場を整備する等、会社を挙げてバックアップしており、従業員の約10%が自転車通勤を行っています。自転車通勤を促進することで、自動車通勤者のための駐車場借上経費の削減に一定の効果があると感じています。また、企業イメージアップや雇用拡大にも期待できる取組であると考えています。



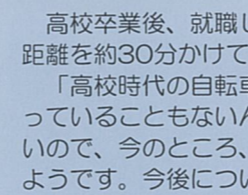
山田さん【総務・人事部】

■自転車通勤を実践している従業員インタビュー



佐藤さん【30歳】

「引越を機に昨年の12月から自転車通勤を始めました」と穏やかに話す佐藤さん。約2kmの距離を10分程度かけてママチャリで通勤しており、自動車通勤の頃と比べて「渋滞も気にしなくて良いし、通勤にかかるストレスがなくなりました」と自転車通勤の効果をはっきりと感じているとのこと。また、通勤時間は以前と変わらないようで、「ガソリン代の節約にもなるし、運動不足の解消にもなるし、今のところ自転車通勤をやめる理由が見つかりません!」と、今後の自転車通勤継続にも笑顔で力強く宣言してくれました。



吉田さん【19歳】

高校卒業後、就職して約1年が経過したフレッシュな新人さんですが、入社直後から毎日7kmの距離を約30分かけて自転車通勤を続けているそう。「高校時代の自転車通学がそのまま続いている感じで、通勤が大変という感覚もないし、特に困っていることもないんです」と、緊張した感じで真摯に話す吉田さんは、「日常生活でも支障がないので、今のところ、自動車を購入する予定もありません」と、自転車が生活の一部になっているようです。今後については、「自動車を買いたくなるまでは続けると思います、多分・・・。」とはかみながら控え目に答えてくれました。

自転車の業務利用

- 商号 株式会社大分銀行
- 事業内容 銀行業 他
- 従業員数 1,577人(2022年9月現在)



Q. 自転車の業務利用を推進する理由は?

A: 従業員の健康増進や環境負荷の低減、SDGsの達成や地域社会にも貢献できる他、様々な経費削減につながる等、社内外への大きな効果を期待して取り組んでいます。

Q. どのように自転車を業務利用していますか?

A: 本店やソーリン支店をはじめ計6店舗で『おおいたサイクルシェア(シェアサイクル)』を導入し、行員の営業回りや市街地周辺の店舗間移動に自転車の業務利用を行っています。

Q. 社員の皆さんの評判はどうですか?

A: 電動アシスト自転車なので移動が楽であり、特に市街地では渋滞や駐車場、狭い道路を気にしなくて良い等、社用車より便利なようです。また、職場内のシステムで予約できるのですが、満車の時も多く、評判は上々と感じています。

Q. 自転車の業務利用について、メリットと感じることは?

A: 社用車のリース代や燃料費、駐車場代等の経費に比べ、『おおいたサイクルシェア』の方が固定費を安く抑えられていると思います。

西出さん【総務部】